

TAKASSE SHOZO | ISHIBASHI MASSANORI

# 高瀬省三・石橋聖肖展



石橋聖肖《丘》1998年



高瀬省三《午後の男》2002年 写真：坂本真典

# 高瀬省三・石橋聖肖展

TAKASSE SHOZO | ISHIBASHI MASSANORI

2010年11月9日(火) - 12月23日(木・祝)

休館日=毎週月曜日 開館時間=9:30-17:00(入場は16:30まで)

同時開催「堀文子展」

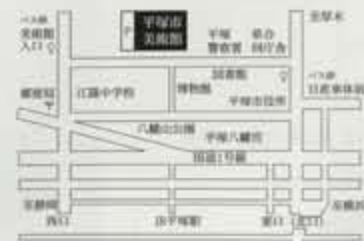
11月23日(火・祝)まで

【ギャラリートーク】

日時：11月20日(土)、28日(金)、12月4日(土)、12日(日)  
各日13:30-14:00 ※要観覧券

【交通案内】

JR東京駅から東海道線にて約1時間。JR平塚駅から徒歩20分。平塚駅東改札口(北口)よりバス4番乗り場乗車、「美術館入口」または「日産車体前」下車。無料駐車場70台。



## 平塚市美術館

SHONAN  
THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART  
〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡1-3-3  
tel.0463-35-2111 fax.0463-35-2741  
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/

2010年11月9日(火) - 12月23日(木・祝)

休館日=毎週月曜日 開館時間=9:30-17:00(入場は16:30まで)

観覧料金=一般200(140)円、高大生100(70)円

※( )内は20名以上の団体料金

※各種障がい者手帳の交付を受けた方及び付添1名は無料

※中学生以下、毎週土曜日の高校生は無料

※65歳以上で平塚市民の方は無料、市外在住の方は団体割引

主催 = 平塚市美術館

## 平塚市美術館

SHONAN  
THE HIRATSUKA MUSEUM OF ART  
〒254-0073 神奈川県平塚市西八幡1-3-3  
tel.0463-35-2111 fax.0463-35-2741  
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-museum/

高瀬省三(たかせ・しょうぞう | 1941-2002)

高瀬省三が作家として活動したのは、30代半ばからである。高校の教員を辞め、新興美術院の渡辺玉花に日本画を学んだ。その後、60歳を前に末期がんの宣告を受け、自身のアトリエにほど近い大磯の海岸で集めた流木を使った彫刻の制作に専らされた時間を費やした。

最晩年の1年間に制作した彫刻は、流木の形状をいかしつつ、彩色をほどこした人物像などである。流木の朽ちた部分を頭部像の首に用いたり、小さく開いた多数の穴の部分に蝶の翅に用いるという具合に、その形状を巧みに利用している。こうした作品をつくる最中の高瀬は、鬼気迫るものがあったという。死を目前にした濃密な時間に制作された彫刻は、長い時間をかけて偶然に流れ着いた素材が使われることによって、いっそう悠久の時間と無常観を感じさせ、神聖な気配すら漂わせている。



## 高瀬省三・石橋聖肖展

TAKASE SHOZO | ISHIBASHI MASANORI

2010年11月9日(火) - 12月23日(木・祝)

### 【高瀬省三略歴】

- 1941 東京都中央区日本橋に生まれる
- 1963 法政大学文学部哲学科卒業  
大学卒業後、神戸の八代学院高校にて社会科教師をつとめる
- 1966 高校を退職後、渡辺玉花に師事し日本画を学ぶ
- 1967-1975 新興美術院に所属
- 1995 高瀬省三個展(一口坂ギャラリー/九段)
- 2002 10月死去
- 2002 風の化石 高瀬省三展(紀伊國屋画廊/新宿)
- 2005 風の化石 高瀬省三展(紀伊國屋画廊/新宿)
- 2008 風の化石 高瀬省三展(ギャラリーうちやま/銀座)  
高瀬省三展-風の化石-(スペースkujira/藤沢)

### 【石橋聖肖略歴】

- 1965 神奈川県茅ヶ崎市に生まれる
- 1992 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
- 1994 東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修了
- 1994-1997, 2000-2003 東京藝術大学工芸科彫金研究室非常勤講師
- 1995 東京藝術大学工芸科教官作品展(東京藝術大学資料館/上野)
- 1996 机上幻想展(ギャラリーV/目黒)
- 1997-2000 東京藝術大学文化財保存修復工芸非常勤講師
- 1999 世界工芸コンペティション金沢(香林坊大和, 金沢市民芸術村/金沢)
- 2000, 2004, 2006 Loft of Alchemist展(ギャルリブス/銀座)
- 2001 「同感」展(ソウル)
- 2003 前進する工芸展(広島市まちづくり市民交流プラザギャラリー/広島, 田辺市立美術館/田辺)
- 2006 四人展(サロン ドーユ/平塚)
- 2007-2009 Life Space展(サロン ドーユ/平塚)
- 2008-2010 メッセージ展(アルスギャラリー/神宮前)
- 2010 彫金の風景2(藝大アートプラザ/上野)

1	3
2	4
	5

- 1 高瀬省三《火の子》2002年
- 2 高瀬省三《砂のゆくえ》2002年
- 3 高瀬省三《海の音》2002年
- 4 高瀬省三《古代魚、もしくはペンチ》2002年
- 5 高瀬省三《KARASU》2002年

1~5 写真: 坂本真典

6	9
7	10
8	

- 6 石橋聖肖《机上幻想》(部分)1995年
- 7 石橋聖肖《漂泊》2001年
- 8 石橋聖肖《水彩》2009年
- 9 石橋聖肖《水恋》1998年
- 10 石橋聖肖《絵画的空間考察》2008年

9 写真: 高山ゆたか

石橋聖肖(いしばし・まさのり | 1965-)

石橋聖肖は、現在、茅ヶ崎で制作を続ける彫金作家である。東京藝術大学在学中に原田賞を受賞するなど、早くからその力量を発揮している。

稠密な表現による細部と、作品全体の景観をつくる場面とで構成される作品は、伝統的な彫金とは異なり、彫刻やオブジェを志向するだけでなく、風景画を見ているようでもある。細部は金工の技法を存分に用いて、みる人を引き寄せる。同時に、作品の空間をつくる一要素でもあるため、改めて全体との関係を眺めることとなる。石橋の特徴はこうした視点の対比にあるといえるだろう。また、どこか古風なモチーフや記憶の奥から蘇ってくるような景観によって、幻想的な世界を表出している。ディテールを見る視点と全体を俯瞰する視点を移しながら、ひとつの空間を眺めていると、自然や人間の生活を感じつつ、その作品へ引き込まれていく。



高瀬省三 彫刻展 2010年11月9日(火) - 12月23日(木・祝)

石橋聖肖 彫刻展 2010年11月9日(火) - 12月23日(木・祝)

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-10-1 丸の内ビルディング10F TEL: 03-5561-0111